

中学校での学習について

授業内容の理解と反復練習を大切に

次の文章は、一中の卒業生が、入試を終えて書いた文章です。

受験を経験してわかったことは、**復習は常日頃からやっておくべき**ということです。自分は、ほとんど復習をやってこなかったため、受験勉強のときにもう一度勉強を最初からしなおす羽目になりました。それには学習範囲が広すぎました。部活動を終えて、夏休みに受験勉強に入りましたが、スタートから少し遅れてしまったように思います。スタートはもう切られていたのです。



僕が特に大事だと思うのは、「**授業**」です。中学校の授業では、どの学校の人も、どのクラスの人もほとんど同じことを学びます。当たり前のことです。だからこそ大事なことなのです。どれだけ集中して授業に参加し、頭に内容を入れられるか、内容を自分で整理するかが重要です。だから、**授業**というものを大切にしてほしいと思います。

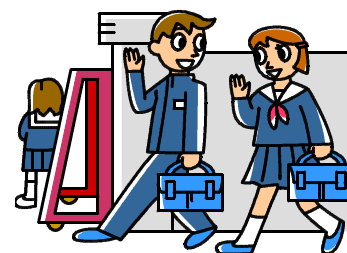


ここには中学校での学習の大事なことが書かれています。それは「**毎日の授業内容を理解できるようにすること。**」と「**毎日の家庭学習(復習)を続けること。**」です。そして何より大切なのは、この二つの要因のどちらかも欠けてはいけないということです。車の両輪のように、どちらか欠けても、学習は前に進みません。

集中して授業に参加し、その内容を正しく理解できていなければ、いくら家庭学習を長時間繰り返し行っても、それは無駄な努力になってしまいます。逆に、授業内容を正しく理解しても、家庭学習を繰り返し行なわなければ、よほどの天才でもない限り、理解や知識は定着しません。

スポーツなどの技術の習得(例えばサッカーのパスの仕方)にも、同じようなことが言えます。サッカーの本を読んだり、パスする場面の動画を見て、パスのやり方を理解して覚えても、それだけでパスが上手にできるわけではありません。できるようになるまでは、**正しいやり方**で繰り返し練習するしかないのです。

ここでのポイントは「**正しいやり方**」というところです。正しいやり方を知らないで、たくさんの量の練習しても、学力の向上は望めません。それを学ぶところが「**授業**」なのです。ただし、この「**授業**」をいうのは、今現在の授業だけを指すわけではありません。**正しいやり方が分からなくなった時点の「授業」まで戻る**ことは、学力向上のための一番の近道であり、最良の方法なのです。かけ算が十分に理解できていない人は、いくら割り算の練習に時間をかけても、その努力に比べて効果が薄いのです。特に積み重ね教科と言われている「**数学**」や「**英語**」という教科にはそれが言えます。分からなくなったときは、恥ずかしがらずに過去の「**授業**」に戻ってください。その時の「**先生**」は、中学校の先生でも、あるいは友達でも、参考書でも構いません。分からないことを、そのままにしておくことが一番いけないことなのです。



そして、ぜひ毎日の授業で、新しい「**出会い**」を得てください。それは知らなかったなあ…、これができるようになったなあ！あんな意見もあるのだなあ…、などという驚きや感動を味わってください。それは、「**未知の世界**」と出会いでありませう。また、昨日までであることができなかった、あることを知らなかった「**昨日の自分**」が、そのことをできるようになった、そんなことを知ることができた「**今日の自分**」に出会うことも意味します。この出会いのことを、人は「**成長**」と言うのです。ぜひ、たくさんの出会いを重ね、大きく成長していきましょう。